



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

シンガポールの政策 港湾政策編

一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所

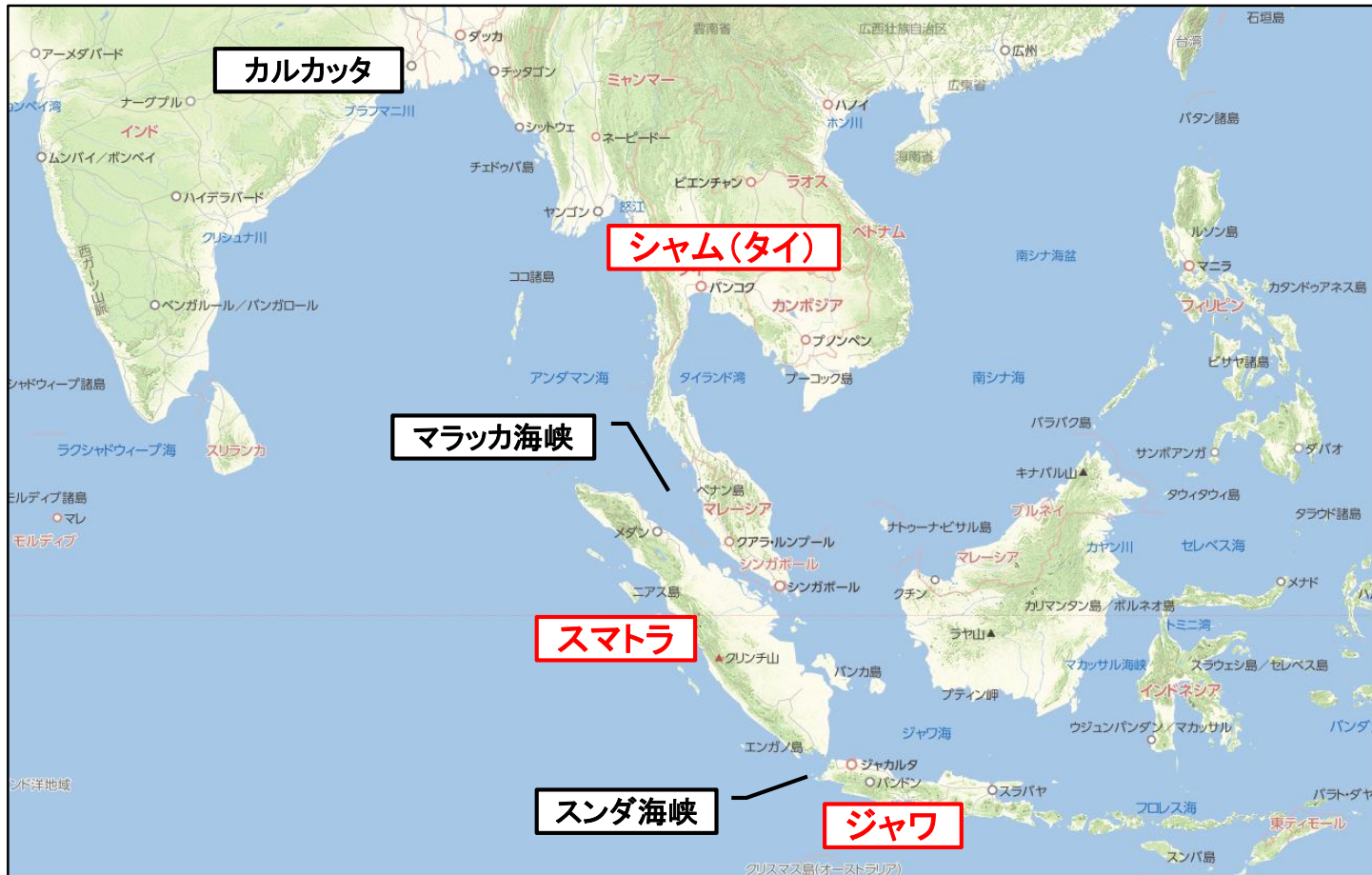
目 次

1. 港湾都市としての成り立ち
2. 貨物取扱量の推移
3. シンガポール港の概要
4. 4つの主要ターミナル
5. 港湾管理組織の沿革
6. 港湾設備とサービス
7. 今後の展望（政策概要）

1. 港湾都市としての成り立ち

■地理的優位性

- ・ 南半球の貿易風が合流する地域であり、アジアとヨーロッパを結ぶ航路上にある
- ・ 元来台風などの自然災害のリスクが低く、植民地時代にオランダ・ポルトガルの影響下になかった



1. 港湾都市としての成り立ち



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

年月日	シンガポール	日本
1819 年 1 月 28 日	英国東インド会社のスタンフォード・ラッフルズ卿の上陸	1639-1853年 鎖国 1858年 長崎、横浜 および函館を開港
1824 年	英国、ジョホール王国からシンガポールを委譲	
1942 年 2 月 15 日	日本軍占領、昭南島と改称(昭南特別市設置)	
1945 年 9 月 5 日	日本軍降伏 → 12日、日本から再び英国の支配下へ	1945年 連合軍による 4 軍港と 2 国際港 の接收
1959 年 6 月 3 日	シンガポール、外交と国防を除く自治権をイギリスから獲得	
1963 年 9 月 16 日	マレーシア連邦の一州として英国から完全独立	1950年 港湾法成立
1964 年 4 月 1 日	シンガポール港湾庁(PSA)が設立	1960年代 コンテナ ターミナルの整備が 進む
1965 年 8 月 9 日	マレーシアから分離独立、シンガポール共和国が誕生	1990年代 国際的な 地位低下
1972年	東南アジア初となるコンテナターミナルが完成	
1990年	コンテナの取扱量が初めて世界一になる	



2. 貨物取扱量の推移



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

■ シンガポール港と日本主要5大港の 貨物取扱量の比較

単位：万TEU（貨物量単位）
※1TEU=20フィートコンテナ

コンテナ取扱量（TEU）

【2016年】

シンガポール港 3,090万TEU

日本5大港 1,519万TEU

東京 473万TEU

横浜 278万TEU

名古屋 266万TEU

大阪 222万TEU

神戸 280万TEU

【1980年】

シンガポール港 92万TEU

日本5大港 327万TEU

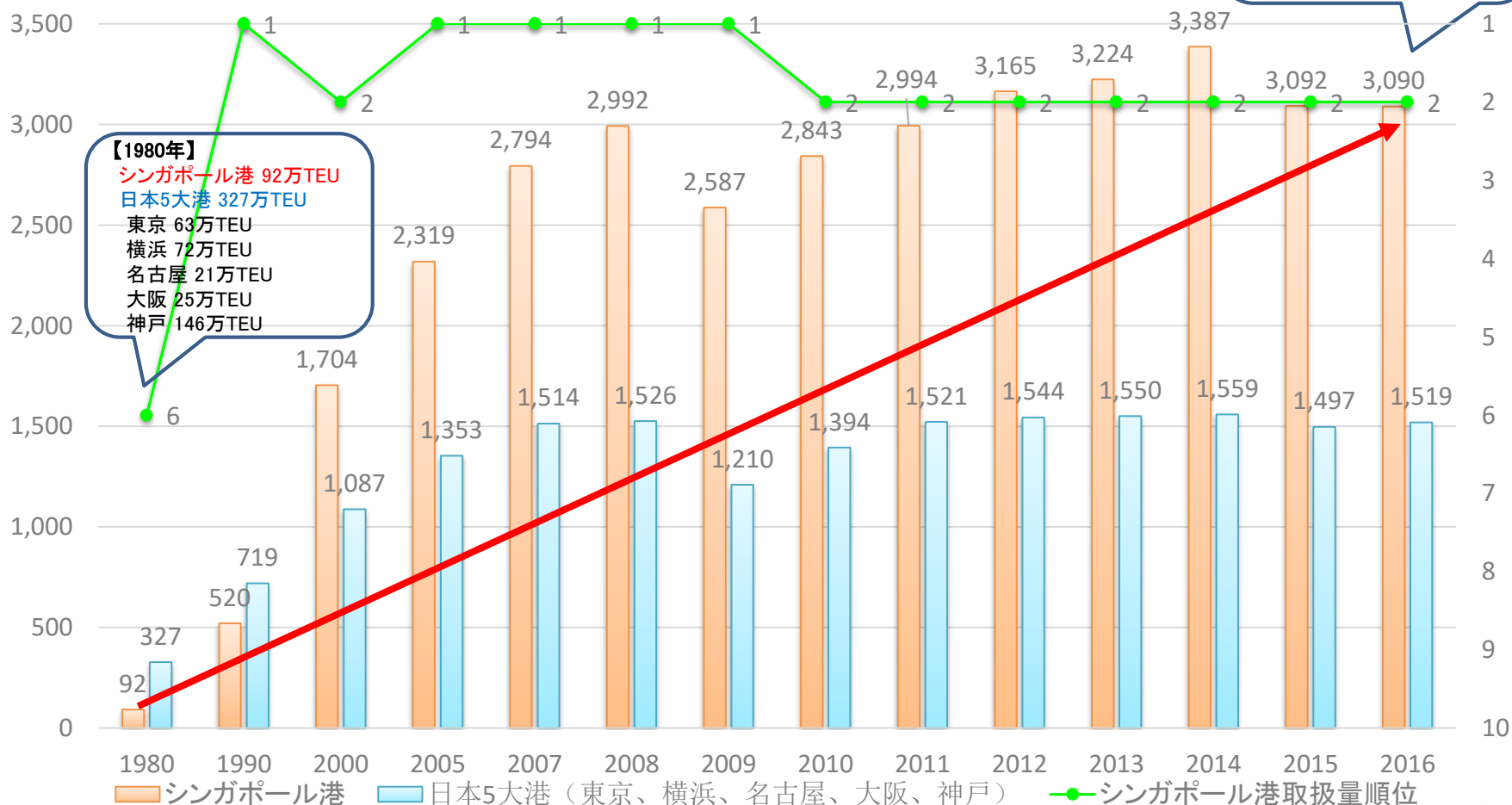
東京 63万TEU

横浜 72万TEU

名古屋 21万TEU

大阪 25万TEU

神戸 146万TEU



2. 貨物取扱量の推移



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

■ 貨物取扱量の世界上位10港

単位：万TEU（貨物量単位）
※1TEU=20フィートコンテナ

順位	1980年		1990年		2000年		2005年		2010年		2016年	
	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量	港湾名	取扱量
1	NY/NJ	195	シンガポール	520	香港	1,810	シンガポール	2,319	上海	2,907	上海	3,713
2	ロッテルダム	190	香港	510	シンガポール	1,704	香港	2,260	シンガポール	2,843	シンガポール	3,090
3	香港	147	ロッテルダム	368	釜山	754	上海	1,808	香港	2,370	深圳	2,398
4	神戸	145	高雄	350	高雄	743	深圳	1,620	深圳	2,251	寧波	2,156
5	高雄	98	神戸	260	ロッテルダム	628	釜山	1,184	釜山	1,419	釜山	1,985
6	シンガポール	92	釜山	236	上海	561	高雄	947	寧波	1,314	香港	1,958
7	サンファン	85	ロサンゼルス	212	ロサンゼルス	488	ロッテルダム	925	広州	1,255	広州	1,889
8	ロングビーチ	83	ハンブルク	197	ロングビーチ	460	ハンブルク	809	青島	1,201	青島	1,800
9	ハンブルク	78	NY/NJ	190	ハンブルク	425	ドバイ	762	ドバイ	1,160	ドバイ	1,477
10	オークランド	78	基隆	181	アントワープ	408	ロサンゼルス	749	ロッテルダム	1,115	天津	1,450

3. シンガポール港の概要

■ シンガポール港

およそ123カ国600の港と結ばれている世界最大級のハブ港

①総面積：769ha（東京ドーム約164個分）

②岸壁延長：20,180m

③最大水深：18m

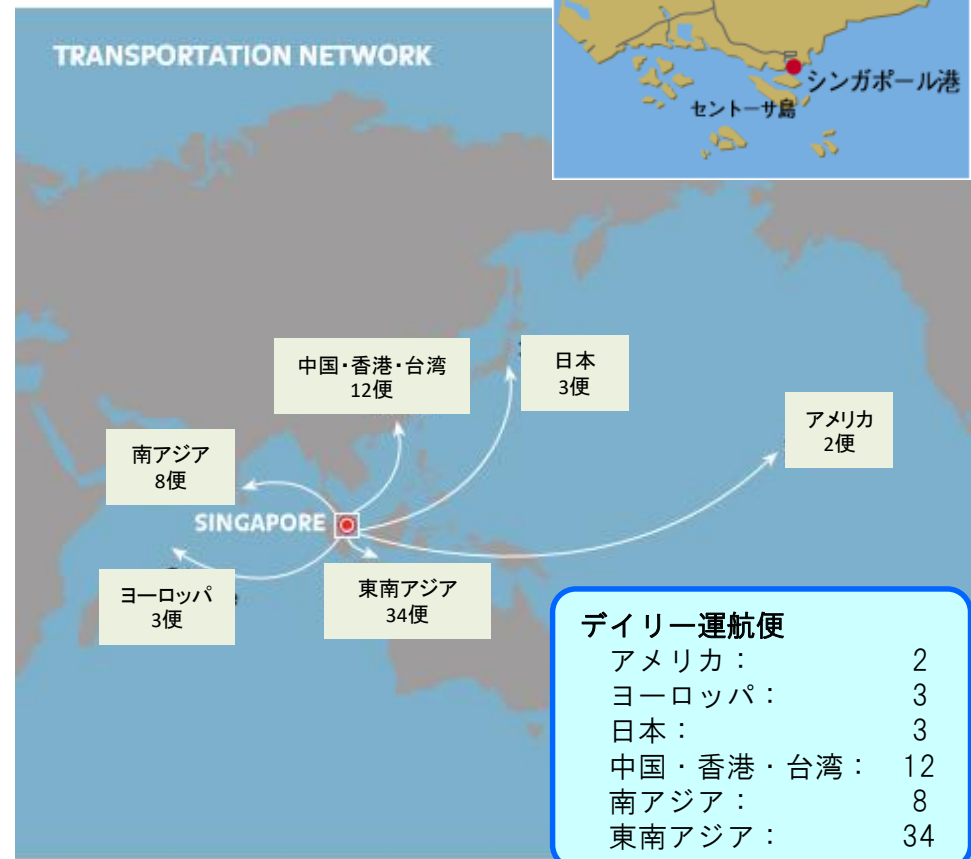
④コンテナバース数：62か所

⑤RO-RO船バース数：3か所

⑥コンテナ用クレーン数：223基

⑦貨物取扱能力：4,200万TEU

⑧運営：PSAインターナショナル



3. シンガポール港の概要



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

世界の港湾都市ランキング（2017） 総合世界1位（2017年）

- 1位 シンガポール
- 2位 ハンブルク
- 3位 オスロ
- 4位 上海
- 5位 ロンドン
- 6位 ロッテルダム
- 7位 香港
- 8位 東京
- 9位 コペンハーゲン
- 10位 ドバイ
- 11位 ニューヨーク
- 12位 アテネ
- 13位 釜山
- 14位 ヒューストン
- 15位 広州

○積み替え・出荷センター機能 1位

○港湾物流機能 1位

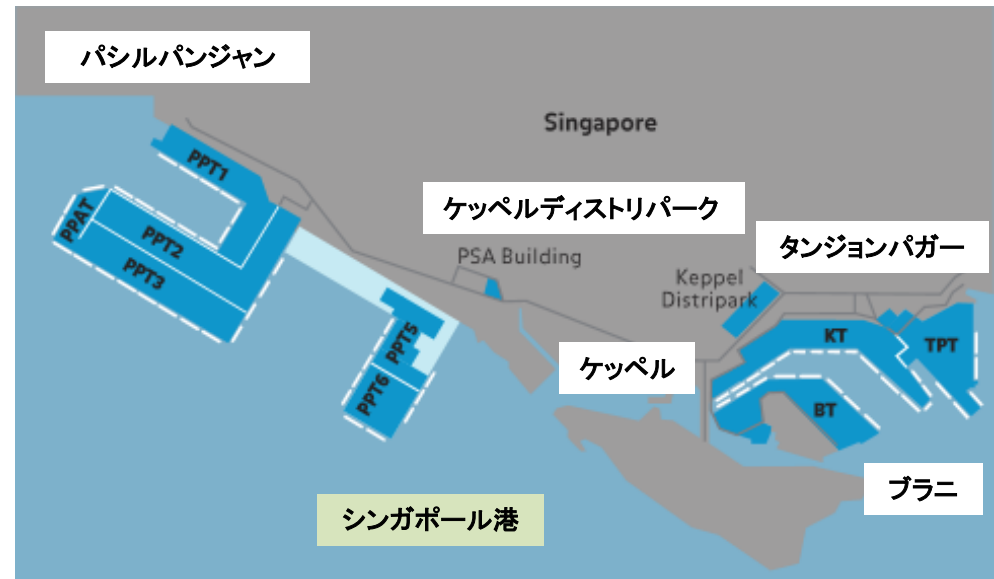
○魅力・競争力 1位



出典：THE LEADING MARITIME
CAPITALS OF THE WORLD

4. 4つの主要ターミナル

■ 各ターミナルの位置



■ 各ターミナルの概況

※自動車専用ターミナルも含む

ターミナル名	タンジョンパガー	ケッペル	ブラニ	パシルパンジャン
面積	79.5ha	102.5ha	84ha	503ha
岸壁延長	2,100m	3,200m	2,400m	12,600m
最大水深	14.8m	15.5m	15m	18m
コンテナバース数	7	14	8	33
クレーン数	19	37	33	134

出典: PSA Websiteの情報を基に作成

5. 港湾管理組織の沿革



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

- 1863年 中国人実業家であったタン・キム・チン（Tan Kim Ching）がタンジョンパガードックカンパニーを設立し、2隻の蒸気船とともに営業を開始。
- 1964年 タンジョンパガードックカンパニーを前身とする、シンガポール港湾庁（PSA：The Port of Singapore Authority）が設立。
- 1997年 海事、港湾業務の監督などの機能を海事港湾庁（MPA：Maritime and Port Authority）に移管し、港湾ターミナル及び施設の運営を担う株式会社PSAコーポレーションとして民営化。
- 2003年 政府系投資会社のテマセク・ホールディングスが全額出資する、PSAインターナショナルが設立され、株式会社PSAコーポレーションはその子会社となった。

6. 港湾整備とサービス



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore

PSAインターナショナルによる 港湾サービス

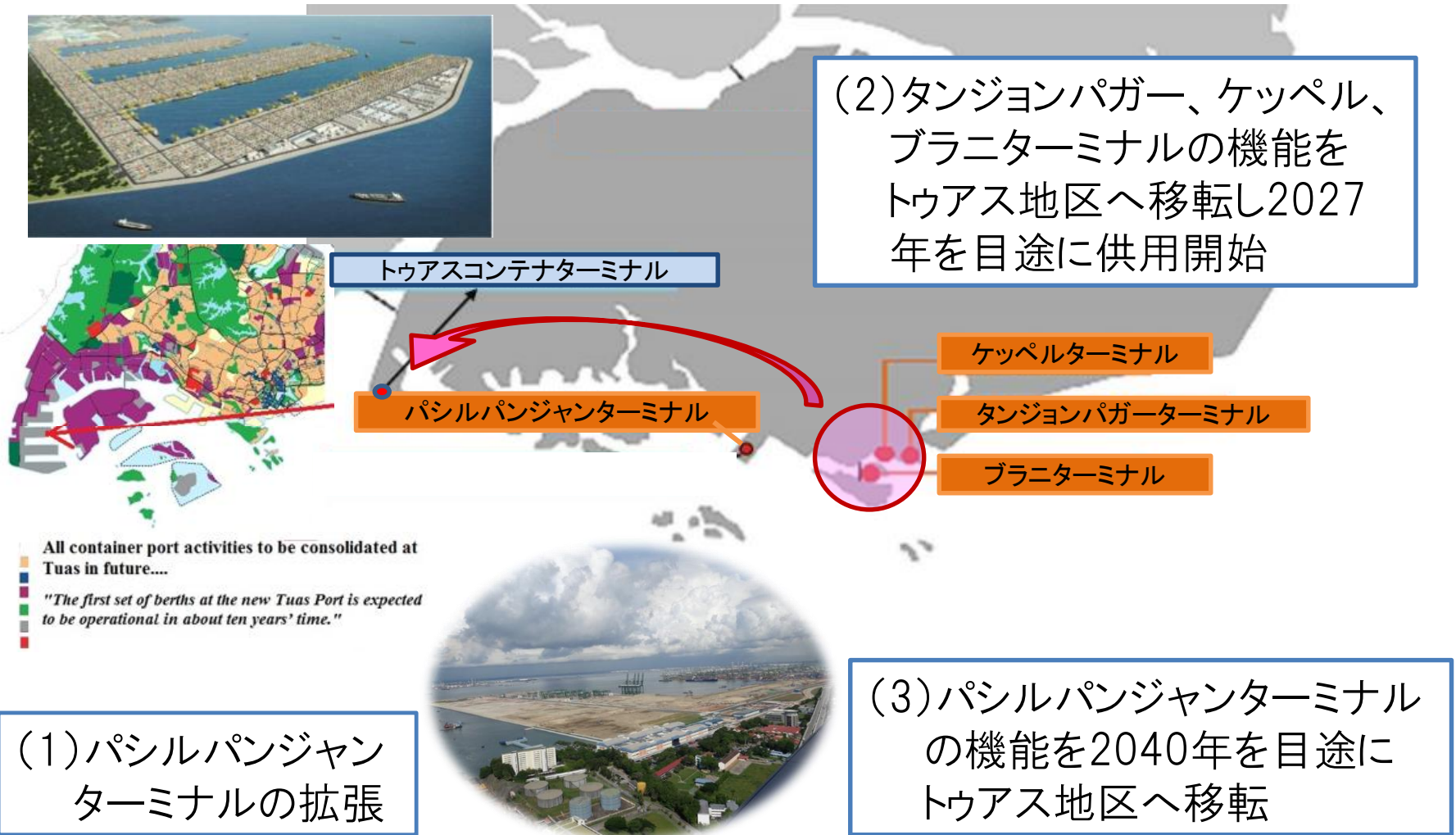


TRADE NET(政府機関と連動した通関システム)

PORT NET(海運事業者向けの商取引システム)

CITOS(ターミナル操作管理システム)

7. 今後の展望（政策概要）



～ ご清聴ありがとうございました ～

E N D



The Japan Council of Local Authorities for
International Relations, Singapore